

令和7年度 第5回 国立大学法人三重大学経営協議会 議事概要

日時 令和8年3月13日（金）13時30分～15時43分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤（正）学長（議長）

伊藤（歳）、馬岡※、大友※、河上、末松、竹林、丸山、服部、横山 各学外委員

金子、湯浅、佐久間、織田島、西岡、田中※ 各学内委員

欠席者 諸岡学外委員

陪席者 中津、小川 各監事

企画総務部長

財務部長

企画総務部総務チーム

I. 審議事項

1. 令和8年度当初予算案について

織田島理事から、「資料：審－1」に基づき、令和8年度当初予算案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 人事労務に関する規程等の改正等について

学長から、「資料：審－2」に基づき、人事労務に関する規程等の改正等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

<主な意見等>

- パートタイム医員の宿直を可能とすることによる夜間診療体制への影響について質問があり、佐久間理事から、実態として診療体制が大きく変わるわけではなく、事務手続きの負担軽減が主な目的である旨の回答があった。

II. 報告事項

1. 令和8年度役員・副学長・学長補佐等体制（案）について

学長から、「資料：報－1」に基づき、令和8年度役員・副学長・学長補佐等体制の案について報告があった。

2. その他

（1）次回開催について

令和8年6月19日（金）13時30分～15時00分

Ⅲ. 意見交換

2. 2040年を見据えて三重大学が目指すミッションと機能強化の方向性について

学長から、「資料：意－1」に基づき、ミッションの実現に向けた教育・研究組織の再編や他機関との連携をはじめとする、本学の機能強化に向けた具体的な取り組み案について説明と報告があり、その後、意見交換が行われた。

<主な意見等>

- 「ワンチーム、ワンキャンパス、ワンハート」の方向性やエッセンシャルワーカー育成などの理念に強い賛同が示され、本学が地域課題を解決し地域を牽引する「知の拠点」となることへの高い期待が寄せられた。
- 計画の実効性を高めるため、「誰が・いつまでに・何をやるか」を明確にしたロードマップやKPIの設定、PDCAサイクルを回す管理体制の構築、および社会状況等の変化に応じて計画を柔軟に見直していくことの必要性が指摘された。
- 本学単独ではなく、行政、地元企業、県立高校、周辺の高等教育機関などと密に連携し、地域社会全体で人材育成や活性化に取り組む必要性が指摘された。
- 本学で学ぶことで「どのような人材になれるのか」を学生が具体的にイメージできる積極的な情報発信と、デジタル技術を有効活用して教育・研究を広く全国へ展開していくことへの期待が語られた。

2. その他

なし

◎会議の最後に、退任する委員から挨拶があった。

以上